

# 【小学校・2年・図画工作・「いろの 見えかた むげん大」】

育成を目指す資質・能力

B4（表現・制作）

C1（発表や話し合い）

造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げることができる。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 カメラ機能

カメラ機能を活用することで、形が変化しやすい作品も画像として記録することができる。

## 学習の流れ

カラーセロハンと出会い、活動の見通しをもつ。

カラーセロハンを並べたり重ねたりしながら、様々な形や色を見つけて楽しむ。

撮影した画像を使いながら、グループ内で発見した形や色を伝え合う。

グループごとに発表し、互いの感じた形や色のよさを伝え合う。

## 事例の概要

本題材は、カラーセロハンを材料とし、並べたり重ねたりする中で生まれる形や色を楽しむ活動である。自らの働きかけによって生まれた形や色から新たな刺激を受けて、更にやってみたいことを思い付き、何度も試しながら感じ方や見方を広げていくことをねらいとした。

指導に当たっては、場づくりとして、1つの大判の机に班ごとと座らせ、互いの活動を見合えるようにした。他者の視点や発見に影響を受けたり、それらを参考にしたりすることを通し、見方や感じ方を広げられるように工夫をした。

児童が全身で色との触れ合いを楽しみ、新たな発見に胸を躍らせ、それを進んで他者に伝えようとする姿が実現できるよう、きめ細やかな配慮と支援を心がけた。

# 【小学校・2年・図画工作・「いろの 見えかた むげん大」】

## 【事例におけるICT活用の場面①】



## 【事例におけるICT活用の場面②】



## ICT活用のポイント

本題材では、グループで1台のタブレット端末を使い、カラーセロハンを重ねてできた形を写真で記録した。端末を班に1台とした意図は、タブレット操作に必要な以上に時間をかけてしまわないようにするためと、発表時に大型モニターへの接続回数を少なくするためである。タブレットで撮影する際のルールについて、事前に指導をしておいたことで、スムーズに活用することができた。

今回のように、そのままの形で保存することが難しい作品では、写真やビデオの記録は有効である。また、撮影することを通して、自分が気に入っている所やこだわったポイントが明確になり、話し合い活動や発表で自分の考えをしっかりと説明できた児童が多かった。カメラ機能を活用することで、造形的な視点を意識し見方・考え方を働かせることにもつながるということが分かった。画像は、拡大や縮小も即座にできるので、色々な見せ方ができる点も有効だと感じた。

小学校2年・図画工作 「いろの 見えかた おげん大」

使用機器：大型モニター 使用したソフトや機能：カメラ機能



〈ICT活用のポイント〉

- ①カメラ機能を活用することで、造形的な視点を意識させることができる。
- ②カメラ機能を活用することで、形が変化しやすい作品も画像として記録することができる。

1 題材の目標

カラーセロハンを重ねたり並べたりしながら鑑賞する活動を通して、いろいろな形や色などに気付くとともに、それらの造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。



2 題材の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 カラーセロハンを使って、楽しい見え方を見つけるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。	鑑 いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、カラーセロハンやカラーセロハンでできる形や色などの造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	態 つくりだす喜びを味わい、楽しくカラーセロハンを使って、楽しい見え方を見つける学習活動に取り組もうとしている。

3 題材について

本題材は、カラーセロハンを材料とし、並べたり重ねたりする中で生まれる形や色を楽しむ活動である。自らの働きかけによって生まれた形や色から新たな刺激を受けて、さらにやってみたいことを思いつき、何度も試しながら感じ方や見方を広げていくことをねらいとした。

指導に当たっては、場づくりとして、1つの大判の机に班ごと座らせ、互いの活動を見合えるようにした。他者の視点や発見に影響を受けたり、それらを参考にしたりするを通し、見方や感じ方を広げられるように工夫をした。また、机上全面を白いテーブルクロスで覆うことで、カラーセロハンのもつ色味がより美しく見えるように配慮をした。

子供たちが全身で色との触れ合いを楽しみ、新たな発見に胸を躍らせ、それを進んで他者に伝えようとする姿が実現できるよう、きめ細やかな配慮と支援を心がけた。



4 学習の計画（2時間）

時間	○児童の主な活動	◇評価する子どもの姿	・指導上の留意点
<p>導入</p> <p>15分</p>	<p>○カラーセロハンと出会い、色の見え方を考える。</p> <p>○活動のめあてを知る</p> <div data-bbox="236 544 839 723" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>めあて カラーセロハンをつかってできた色や形のおもしろさをはっけんしよう！</p> </div> <p>○授業の中で使う3つの力を確認する。</p> <div data-bbox="236 824 994 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★見つけよう（知識・技能）</p> <p>★考えたりかんじとったりしよう（思考・判断・表現）</p> <p>★楽しくやろう（主体的に学習に取り組む態度）</p> </div>		<p>・カラーセロハンと出合わせ、興味・関心を引き出す。</p> <p>・活動の内容とめあてを伝える。</p> <p>・授業のねらいをより具体として掴ませるために、「すてきな形や色を」というキーワードを付け加えて提示する。</p>
<p>展開</p> <p>45分</p>	<p>○カラーセロハンの色の感じを確かめながら、どんなことができるか試す。（グループ）</p> <p>○一人で工夫したり、友達と協力したりしながら様々な並べ方を試し、面白い形や色を発見していく。</p> <p>○『見て見てタイム』 途中までで発見した一番のお気に入りを机に残し、立ち歩きながら自由に全体で鑑賞し合う。</p>	<p>◇カラーセロハンを並べたり重ねたりして生まれる様々な形や色に気付いている。</p> <p>知【つぶやき、教師の見取り】</p> <div data-bbox="694 1809 1369 1966" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さつえいのやくそく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りのところがつたわるようにとろう</li> <li>・ゆずりあってなかよくつかおう</li> </ul> </div>	<p>・各グループにカラーセロハン1セット（8色の14cm四方サイズを1枚ずつ）を配り、机上ですてきな並べ方を工夫することを提案する。</p> <p>・各グループに追加のカラーセロハンを配る。</p> <p>・面白い形や色の発見を、タブレットのカメラで記録させる。何度でも並べ替えてよいことも伝え、活動を促す。</p>

振 り 返 り 30 分	透明色紙でどんなことができたか、発見した色や形を伝え合う	
	<p>○はっぴょうそうだんタイム 記録した写真をグループで 振り返りながら、全体で紹介 したい発見を選ぶ。</p> <p>○グループごとに発表し、互 いの感じた形や色のよさを 伝え合う。</p> <p>○片付けをし、終わったグル ープから振り返り用ワーク シートに今日の発見や学習 感想をまとめる。</p>	<p>◇自分や友達の見つけた形や 色の面白さや楽しさを感じ 取り、自分の見方や感じ方 を広げている。【思(鑑) 【発言、振り返り用ワークシ ート】</p>

## 5 ICTの効果的な活用について

本題材では、グループで1台のタブレット端末を使い、カラーセロハンを重ねてできた形を写真で記録した。端末を班に1台とした意図は、タブレット操作に必要な以上に時間をかけてしまわないようにするためと、発表時に大型モニターへの接続回数を少なくするためである。タブレットで撮影する際のルールについて、事前に指導をしておいたことで、スムーズに活用することができた。

今回のように、そのままの形で保存することが難しい作品では、写真やビデオの記録は有効である。また、撮影することを通して、自分が気に入っている所やこだわったポイントが明確になり、話し合い活動や発表で自分の考えをしっかりと説明できた児童が多かった。カメラ機能を活用することで、造形的な視点を意識し見方・考え方を働かせることにもつながるということが分かった。画像は、拡大や縮小も即座にできるので、色々な見せ方ができる点も有効だと感じた。

